

第2回小児造血細胞移植セミナー

子どもの苦痛を考える

～移植後の合併症に対する症状緩和～

2026年1月10日（土）12:30～16:30

会場：国立がん研究センター中央病院 管理棟1階 特別会議室
住所：東京都中央区築地5丁目1-1
対象：小児造血幹細胞移植に関わる全ての職種

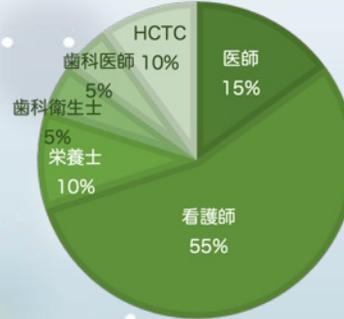
造血幹細胞移植推進拠点病院の事業の一環として、関東・甲信越ブロック(南関東)におけるセミナー開催等の地域連携に取り組んでおります。

2026年1月10日、小児造血幹細胞移植に関わるすべての職種を対象に、症状緩和に携わる多職種の視点から、現場における実際の工夫や最新の知見についてご講演いただきました。あわせて、移植後の合併症に対する症状緩和について4つのテーマ別グループに分かれ、グループワークを行うセミナーを開催し、19名の参加がありました。

プログラム

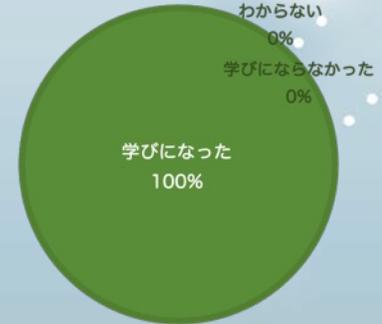
開会のあいさつ 山本将平 東海大学医学部附属病院 小児科
子どもの倦怠感と睡眠への支援～回復を支える日常ケア～
工藤亮太 東海大学医学部附属病院 看護部
移植前後に生じる子どもと家族の心理的苦痛に対するケア
～多職種によるチームアプローチ～
山内 彩 東京都立小児総合医療センター 看護部
食べる・話すを支える看護 移植後粘膜障害へのアプローチ
渡邊雅矢子 神奈川県立こども医療センター 看護局
こどもの痛みに関わる際に大切にしたいこと
～造血幹細胞移植の場面を中心に～
余谷暢之 国立成育医療研究センター 緩和ケア
グループワーク：移植後の合併症に対する症状緩和
閉会のあいさつ 山本将平 東海大学医学部附属病院 小児科

職種について



セミナーの充実感を教えてください

セミナーの時間について



アンケート回答:20名

今後の希望

- 家族看護、兄弟児のサポート
- 移植後の食事
- LTFU
- トランジション

■主催：造血幹細胞移植推進地域拠点病院 東海大学医学部附属病院
■後援：造血幹細胞移植推進拠点病院 国立がん研究センター中央病院

■セミナー運営事務局：
東海大学医学部附属病院 造血幹細胞移植推進地域拠点病院事務局
TEL：0463-93-1121 内2237 Mail：SID15107@tokai.ac.jp

第2回小児造血細胞移植セミナー 子どもの苦痛を考える～移植後の合併症に対する症状緩和～

2026年1月10日（土） 12:30～16:30

グループワーク：移植後の合併症に対する症状緩和

第2回小児造血細胞移植セミナー 子どもの苦痛を考える グループワーク ワークシート

まずは司会・発表者をお決めください

栄養

1 施設の工夫・自慢

〈東海大〉

- ・調理システム（ニューワグネル） 衛生学的
- ・行事食（月1回）
- ・小児イベント（ex）ハロウィン・クリスマス
- ・多職種連携

〈群馬県立こども病院〉

- ・ゼムベリ、レトルトの活用は多い
- ・個別調整は幅が広く
- ・市販のおかしの活用も 個別メニュー調整
- ・多職種連携
- ・遠征メニュー（週1～2回）院内全棟で取り
- ・コナ弁は おやつバイキング 対応（食の興味・モチベーションアップ）

2 困りごとの相談・解決

- ・抗がん剤薬と バランスとの兼ね合い
食べかたごとの偏りがある場合... → 移植期間中はバランスの
体調整持！
- ・見下目で病院食が遠くない
メニューも書いてもらうなど
- ・栄養的問題と移植前後のケアと 調整も難しい

- ・持ち込みが禁止（管理も難しい）
- ・食料制限が厳しい
- ・たろたろ食べに慣らす → 食のイメージを現める（食事で栄養補給）
- ・遠征する時に適応メニューが → 事前に説明を（飲むもの）
- ・味覚障害の時の対応 → 味付け調整を食事前に行うことも

©TOKAI UNIVERSITY2025

第2回小児造血細胞移植セミナー 子どもの苦痛を考える グループワーク ワークシート

まずは司会・発表者をお決めください

その他

1 施設の工夫・自慢

- ◎ 1日3回ペースで食事の回数が増えるようにする。
・3回に分けて食べるようにし、量も減らす。
・保食士が介入して食べる量を調整し、水分も減らす。
・お茶も少量ずつ飲むようにする。
・お水も少量ずつ飲むようにする。
・お粥や柔らかいおかゆを食べさせる。
・お粥やお粥の代わりにお粥のペーストを食べさせる。
・お粥やお粥の代わりにお粥のペーストを食べさせる。

- ◎ 栄養士の先生はなぜかよく頑張る。
・お粥やお粥の代わりにお粥のペーストを食べさせる。
・お粥やお粥の代わりにお粥のペーストを食べさせる。
・お粥やお粥の代わりにお粥のペーストを食べさせる。

- ◎ 栄養士の先生はなぜかよく頑張る。
・お粥やお粥の代わりにお粥のペーストを食べさせる。
・お粥やお粥の代わりにお粥のペーストを食べさせる。
・お粥やお粥の代わりにお粥のペーストを食べさせる。

©TOKAI UNIVERSITY2025

■主催：造血幹細胞移植推進地域拠点病院 東海大学医学部附属病院
 ■後援：造血幹細胞移植推進拠点病院 国立がん研究センター中央病院

■セミナー運営事務局：
 東海大学医学部附属病院 造血幹細胞移植推進地域拠点病院事務局
 TEL：0463-93-1121 内2237 Mail：SID15107@tokai.ac.jp

第2回小児造血細胞移植セミナー 子どもの苦痛を考える～移植後の合併症に対する症状緩和～

2026年1月10日（土）12:30～16:30

セミナーの感想

- 色んな施設のことを知ることができて、有意義なグループワークを過ごせました。
- 他施設での患者さんの関わり方、苦痛への対応について意見を伺う事ができ反省する面も多々ありました。これからの診療に活かしていく事が出来ればと思います。
- とても、興味深い内容でした。特に余谷先生の話聞いて諦められない家族をまってあげることでモヤモヤしていたものがとれました。ありがとうございました。
- 分かりやすい講義でした
- 移植の看護についてさまざまな視点から専門家の話を聞いてとても学びになりました！
- 色々な職種や病院の患者さんや工夫内容、ケアの介入など聞くことができてとても良い学びになりました。日頃の看護に活かしていけたらと思います。
- とてもわかりやすく、GWもいろいろな施設のことも知れたので良かったです。
- グループセッションでは、他施設や他職種でも関わりがしれて参考になりました。参加して学びになりました。次回も参加したいと思いません。ありがとうございました。
- 貴重なご講義を拝聴できて、現場で活かせるヒントをたくさんいただくことができました。グループワークは盛り上がり時間が足りなくなってしまったので、次回はもう少し長めの時間設定や半分のところでアナウンスなどいただけるとありがたいなと思いました。
- 余谷先生の講義は普段なんとなく思っていたことが分かりやすく言語化されており興味深く聞くことが出来た。多職種で協力しながらいろんな視点から患者・家族と関わっていききたい
- 他施設の方々と意見交換することができ、学びになるとともに、自施設について振り返るきっかけとなりました。参加者がほとんど看護師さんだったので、他職種の講演などもあると他の職種も参加しやすいのではと思いました。ありがとうございました。

■主催：造血幹細胞移植推進地域拠点病院 東海大学医学部附属病院
■後援：造血幹細胞移植推進拠点病院 国立がん研究センター中央病院

■セミナー運営事務局：
東海大学医学部附属病院 造血幹細胞移植推進地域拠点病院事務局
TEL：0463-93-1121 内2237 Mail：SID15107@tokai.ac.jp